

## レジ袋の削減に向けた取り組みに関する協定

イオン北海道株式会社、協定参加市民団体（以下、「市民団体」という。）及び帯広市は、循環型社会の実現と環境に配慮したエコな暮らしを推進することを目的として、本協定を締結し、次のとおり協働してレジ袋の削減に取り組みます。

- 1 イオン北海道株式会社は、帯広市内店舗で、市民に対し、マイバッグ等の持参を呼びかけるとともに、マイバッグ等の持参率を80%以上とすることを目標として、レジ袋の有料化を実施します。
- 2 イオン北海道株式会社の帯広市内店舗では、レジ袋の収益金を環境保全活動や地域貢献活動などに還元し、その内容を定期的に公表いたします。
- 3 イオン北海道株式会社は、帯広市内店舗のレジ袋の削減を図る活動状況及び目標数値について、定期的に公表します。
- 4 市民団体は、マイバッグ等の持参によるレジ袋の削減を市民に呼びかけます。また、イオン北海道株式会社におけるレジ袋の有料化によるレジ袋削減の取り組みを積極的に支援します。
- 5 イオン北海道株式会社及び帯広市は、帯広市内店舗におけるレジ袋削減の活動について、協議のうえ、連携しながら効果的なPRを行います。
- 6 帯広市は、レジ袋削減の活動を推進、PRし、循環型社会の構築に向けた取り組みを推進します。
- 7 この協定に定めのない事項又は疑義を生じたときは、当事者で別途協議して定めることとします。

令和2年 6月 8日

イオン北海道株式会社

代表取締役社長 青柳 英樹



帯広市町内会連合会

会長 高宮 裕



一般社団法人帯広消費者協会

会長 村上 早苗



帯広市

市長 米沢 則寿

